2026 年 11 月 27 日
ヤマト住建株式会社

床上まで水が届かなくても、住まいに被害。
ヤマト住建、復旧負担の軽減を目指す「床下耐水害住宅」を発売

注文住宅を手がけるハウスメーカーのヤマト住建株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役：河本　佳樹）は、床下への浸水リスクを抑える「床下耐水害住宅」を発売しました。



■床下への浸水に備える住まいづくり

本仕様は、建物まわりの地盤面から最大400mm（40cm）、基礎の上端までの水位を想定した住宅仕様です。耐水害用玄関ドアの採用・下水の逆流防止・屋外設備の浸水対策を組み合わせ、水害による被害とその後の片付け・復旧負担の軽減を目指します。従来の耐水害住宅仕様が地盤面から最大1mまでの水位を想定しているのに対し、本仕様は対策範囲を基礎の上端までに絞り導入コストを抑えることで、水害への基本的な備えを取り入れたい方にも選んでいただきやすい仕様としました。（詳細はこちら：https://www.yamatojk.co.jp/choose/yukashitataisui ）

■河川水害で被災した家屋の約66%が「床下浸水」

台風や集中豪雨で建物周辺の水位が上がると、室内の床まで水が届かなくても、床下に水や泥が入り込むことがあります。水が引いた後も、排水や泥の除去・乾燥などが必要になる場合があり、暮らしの復旧に負担がかかります。建築研究所が国土交通省の水害統計調査を基に行った集計では、1993年から2020年までの全国の河川水害で、被災家屋の約66%が床下浸水でした(※1)。ヤマト住建は、建築予定地の水害リスクに応じて選べる備えとして「床下耐水害住宅」をご提案できるようになりました。

■「床下耐水害住宅」の主な特長

① 屋内への浸水リスクを抑える

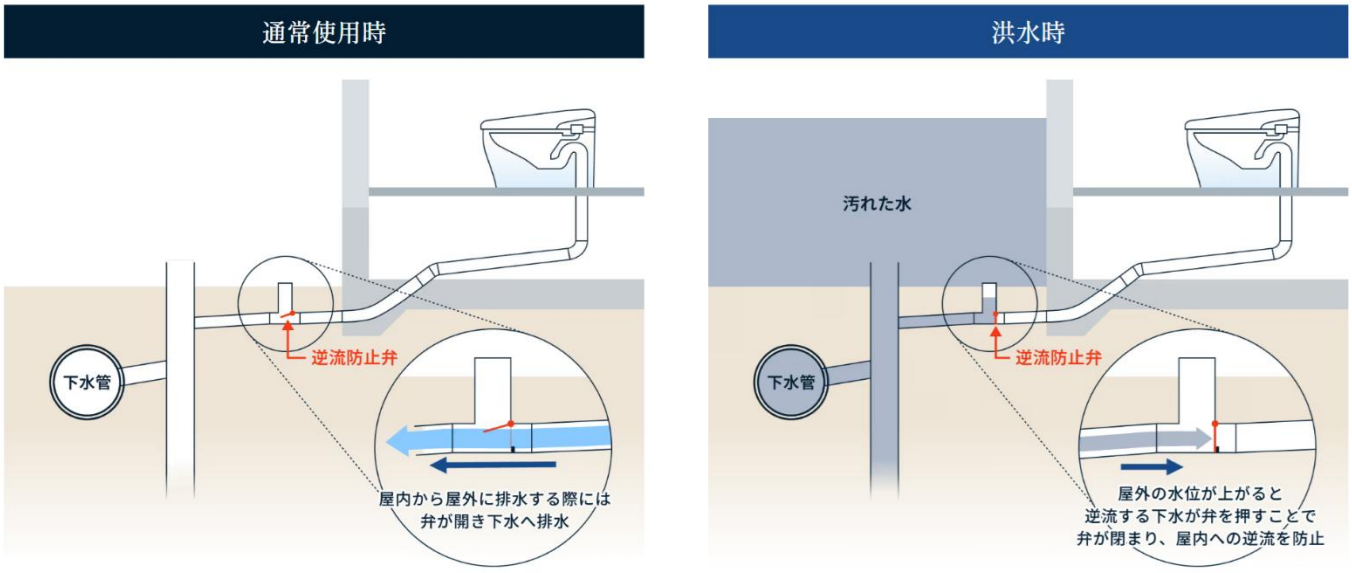
単位平米あたりの漏水量

JIS規格「JIS A 4716」の等級	単位平米あたりの漏水量	漏水量の目安(1時間あたり)
Ws-6	1L/(h/m²)以下	2Lペットボトル 約0.5本分以下
Ws-5	1L/(h/m²)を超え4L/(h/m²)以下	2Lペットボトル 約2本分以下
Ws-4	4L/(h/m²)を超え10L/(h/m²)以下	2Lペットボトル 約5本分以下
Ws-3	10L/(h/m²)を超え20L/(h/m²)以下	2Lペットボトル 約10本分以下

対策範囲は、建物を支えるコンクリート基礎の最上部「基礎天端」までです。玄関には、JIS A 4716の浸水防止性能で最高等級に当たるWs−6等級相当の耐水害用玄関ドア「プロノーバ2」を採用。特殊なゴムパッキンや、高い位置に設けた鍵穴などにより、水の浸入を抑えます。

※Ws−6等級相当は玄関ドアの性能を示すもので、住宅全体の性能等級ではありません。

② キッチン・トイレなどの下水逆流を防止



水害時には、建物の外側からの浸水に加え、キッチン・トイレ・洗面などの排水管から下水が逆流するリスクもあります。本仕様では逆流防止対策を行い、屋内に汚水があふれるリスクと、衛生面での被害の軽減を図ります。

③ 水害後の生活再開に必要な設備を守る



エコキュートには、地盤面から490mmまでの浸水に対応する機種を採用。エアコンの室外機は高さ400mmの架台に設置します。暮らしに欠かせない設備の浸水リスクを抑え、水害後に日常生活へ戻りやすい住まいを目指します。

■土地の水害リスクに応じた住まいづくりを

水害への備えは、建築予定地の想定浸水深や、敷地と道路の高低差などを踏まえて検討することが大切です。当社では、ハザードマップで水害リスクを確認したうえで、敷地条件に応じた住宅仕様をご相談いただけます。仕様の詳細は、公式ホームページをご覧ください。

※1 出典：国立研究開発法人建築研究所『建築研究報告 No.153 建築物の浸水対策案の試設計に基づくその費用対効果に関する研究』（2023年）表 Ⅰ-3。
※本仕様は、水害による被害リスクの低減を目的としたものであり、被害を完全に防止するものではありません。

＜会社概要＞
企業名：ヤマト住建株式会社(URL: https://www.yamatojk.co.jp/)
代表者：代表取締役　河本 佳樹
所在地：〒651-0083　兵庫県神戸市中央区浜辺通 5 丁目 1 番 14 号
　　神戸商工貿易センタービル 18 階
創業：1987 年 11 月